



令和7年度 ちば若者みらい創出プロジェクトチームの取組



令和 7 年度ちば若者みらい創出プロジェクトチームの取組

○ちば若者みらい創出プロジェクトチームの結成

●令和 7 年 9 月

ミラチバ プロジェクト協力企業・団体に対して、プロジェクトチームに参加を依頼

●令和 7 年 1 0 月

協力のご承諾を得られた企業から参加メンバーを確定

●参加企業・団体（9 団体、1 1 名）

千葉県商工会連合会青年部、千葉県商工会議所連合会青年部、株式会社千葉銀行、株式会社京葉銀行、株式会社新昭和、麒麟ビバレッジ株式会社、株式会社I&SBBDO、千葉大学、千葉県職員（子育て支援課、市町村課、市町村研修生）

○企画会議の議題

若者目線で「ちば部」が抱える課題や、若者が参加したいと思える「ちば部」を盛り上げる企画案を 2 グループに分かれて検討

令和7年度ちば若者みらい創出プロジェクトチームの取組

○第1回会議の取組

- ・「ちば部」のイベント企画を検討するにあたり、「ちば部」第1弾・第2弾のイベントプログラムを知ると共に、改善案を検討
- イベント後も交流を継続するための取組や、より自然なコミュニケーションを創出することが課題感として挙げられた。また、一つの目的を持ってみんなで取り組んでいく方向性のイベントが仲間づくりには有効ではないか等の分析を行った。

○第2回会議から第4回会議の取組

- ・「ちば部」全体をより盛り上げるための企画案の検討を、2グループに分かれて実施した。
- ・グルメ部への提案や大型の定期イベント、新たな部の創設や、コミュニティツールに関する検討などを骨子として、幅広に議論を進めた。



○発表する企画案について

企画会議の結果、令和7年度は6つの企画アイデアをプロジェクトチームから提案

- ・「Teamボードゲーム」設立&イベント開催
- ・「Teamグルメ」イベント開催
- ・ちば部 合同イベントの開催
- ・女性参加者 促進イベントの開催
- ・オンライン交流ツールの強化
- ・イベントを拡充するためのアイデア



アイデア 1

「Teamボードゲーム」 設立&イベント開催



企画背景

Point 1

若者の間で関心が高まり、 県内のボードゲームカフェも人気

若者の間でボードゲームへの関心が高まり、
飲み物や軽食を楽しみながら、様々なボードゲームを
その場で遊べるボードゲームカフェが人気を集めている。

県内でも千葉市や柏市、船橋市、木更津市など
様々な地域にボードゲームカフェがあり、多くの利用者と賑わっている。



Point 2

ボードゲームは気の合う 仲間を見つけるコンテンツとして最適

ボードゲームは対戦だけでなく、協力し合うゲームや
価値観や考え方を共有し合うゲームもあるため、ゲームを通じて
気の合う仲間を自然と見つけやすい。
また、「誰でも楽しめる、場所を選ばない」特性を活かして
他の部活動での交流コンテンツとしても活用できる。



イベント案

1日限定の特別空間でボードゲーム仲間をつくる

ちば部 プレミアムボードゲームカフェ



イベント概要

単なるボードゲームのイベントではなく、県内のお洒落な場所を活用した1日限定の特別なボードゲームカフェをちば部でオープン。

普段では味わえない空間で、ボードゲームや食事を楽しみながら自然と仲間づくりができるイベントを開催。

協力団体案

- 県内のボードゲームカフェ
- お洒落な空間を提供する県内の飲食店や宿泊施設

交流プログラム案

Program 1

13:00 - 14:30

価値観を知れるゲームで チーム内交流

6名ほどのチームに分かれ、
価値観が自然と見えてくるボードゲーム
で、初対面同士でも一気に距離が縮まる
アイスブレイクを行います。



Program 2

14:30 - 16:00

協力し合い絆を深める チーム対抗戦

チームごとに力を合わせて挑む対抗戦。
協力しながら戦略を練ることで、一体感
や仲間意識がぐっと高めていきます。



Program 3

16:00 - 17:30

新たなつながりを作る フリー交流

チームに関係なく、好きなボードゲーム
を選んで、様々な人と自由に遊ぶことで、
新たなつながりを作っていきます。





アイデア 2

「Teamグルメ」 イベント開催

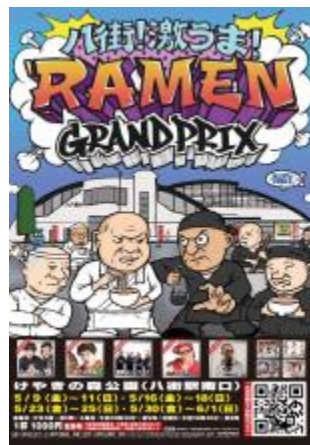


企画背景

Point 1

食に関連するイベントは 多くの若者が関心を持っている

食をテーマにしたイベントは幅広い層の関心が高く、
若者にとっても友人同士で楽しめる人気のスポットとなっている。
県内でも各地域でグルメフェスが多数行われ、賑わいを生み出している。



Point 2

イベントを通じて 千葉県の特産品のPRにも繋げられる

イベント内で千葉県の特産品を取り入れることで、
若者に地域の魅力を自然に知ってもらうきっかけを創出。
また食に関連する企業や団体にも協力を依頼し、
イベントを通じて千葉県の特産品PRにもつなげる。



イベント案

千葉県の幻の食材を採って食べて交流する 超贅沢！幻グルメ堪能イベント



イベント概要

普段味わえない、千葉県のとれたての“幻食材”を楽しめる贅沢な交流イベントを実施します。

参加者は「海チーム」「山チーム」に分かれて収穫・捕獲体験を行い、採れたての食材を持ち寄って調理に挑戦。

最後はできあがった料理を囲んで交流し、“採る・作る・食べる”を一度に体験できる特別なイベントです。

食材案

大多喜町「白いたけのこ」 / 富津市「黄金アジ」など

協力団体案

- 食材に関連する自治体や企業
- 調理や食事ができる施設

交流プログラム案

Program 1

11:00 - 14:00

幻の食材を採ってつながる 収穫交流プログラム

「海チーム」「山チーム」に分かれて幻の食材を収穫する体験型プログラム。自然の中で協力しながら活動することで、交流の場を生み出します。



Program 2

14:00 - 16:30

採れたてをみんなで調理 クッキングプログラム

採れたての幻食材を使い、人気料理系YouTuberを講師に招いた実践型クッキング体験を実施。一緒に料理をつくることでさらに絆を深めていくプログラムです。



Program 3

16:30 - 18:30

贅沢料理を囲んで語らう 食事懇親プログラム

“とれたての贅沢料理”を囲み、食事をしながら交流を深めます。収穫や調理の体験を共有しながら、参加者同士が自然と会話を楽しみむ時間に。





アイデア 3

ちば部 合同イベントの開催

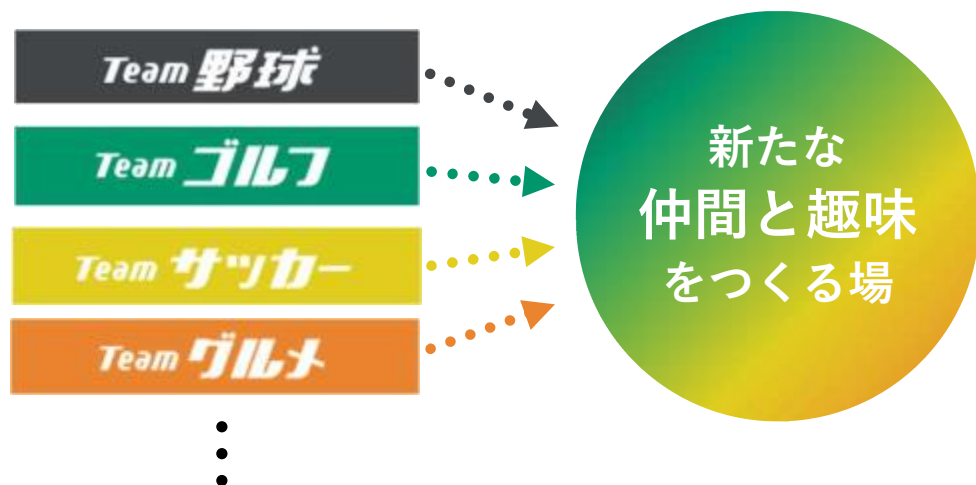


企画背景

Point 1

部を超えた新たな出会いと 新たな趣味の発見の場を創出

「ちば部」では趣味や関心事ごとのイベントが中心で、自分の好きな分野での出会いのきっかけをつくってきた。それに加えて、部を超えて多くの人が集まる場をつくることで、新たな出会いと趣味の広がりを促し、コミュニティの幅の拡大を目指す。



Point 2

「ちば部」を象徴する 風物詩となるイベントをつくる

趣味ごとの部活動を横断して多様な仲間が集まる大型イベントを開催し、ちば部全体が一体となって盛り上がる恒例の“風物詩”を創出。部を超えたつながりを生み出すとともに、ちば部の魅力をより多くの人に知ってもらう象徴的なイベントとして発展させる。



仲間づくりと言えば「ちば部」
そろそろ合同イベントの時期だ！

部を超えた交流で、新たな仲間や趣味に出会える

ちば部 大運動会



イベント概要

学生時代に誰もが親しんだ“運動会”という馴染みある行事を、ちば部の風物詩となる合同イベントとして開催。様々な趣味を持つ約100名が集まり、チームに分かれて協力型の競技に挑む大型の運動会イベントを実施します。つな引き、玉入れ、大縄跳び、各部活に対応した種目など、誰もが参加しやすい競技を通じて、一体感と新たな交流を生み出します。

協力団体案

-大学・鉄道会社・スポーツ関係団体など

交流プログラム案

Program 1

13:00 - 18:00

様々な競技で盛り上がる 運動会プログラム

つな引き、玉入れ、大縄跳びといった運動会の定番種目に加え、各部活動にちなんだ競技も取り入れたプログラムを実施。
チームで協力しながら挑む多彩な種目を通じて、初対面同士でも声を掛け合い、自然と一体感や盛り上がり生まれる構成に。



Program 2

18:00 - 20:30

運動会後にゆったり語り合える BBQ交流会

競技後にはバーベキュー交流会を行い、より自由に交流を深められる時間を提供します。
また、運動会プログラムの成績に応じて食材のランクに差を付けるなどのゲーム性も持たせて盛り上げていきます。





アイデア4

女性参加者 促進イベント



企画背景

Point 1

男性比率が高いため、 女性の参加を促進する必要がある

現在のイベントの参加者は、男性参加者よりも女性参加者が少ない状況。
男女比のバランスを整えるために、女性の参加を促進する取組が必要。



Point 2

イベントに1人で参加することが 不安を感じる女性も多い

ちば部のイベントに興味を持っても、
「同年代の女性も参加しているか」「男性しかおらず浮いてしまわないか」
など不安になって参加することを躊躇ってしまうという声も。



参加したいけど、
1人だと不安だなあ、、

男性しか参加者いなくて、
浮いたりしないかな

女性部員限定！女性同士でつながって仲良くなる ちば部 レディース交流会



イベント概要

女性1人でも安心して参加でき、女性同士が自然につながれる場として、女性限定の交流イベントをつくります。イベント内容としては、アフタヌーンティーやカフェなど女性に人気の場所に加えて、サウナや映画など「行きたいけれど1人では行きづらい」スポットをテーマにした企画を実施。

ちば部が初参加でも気軽に参加したくなる、さまざまな女性限定イベントを展開していきます。

こうしたイベントを通じて女性同士の仲良しグループを形成し、そのグループで他のちば部イベントにも参加しやすくなる流れを生み出していきます。



アイデア 5

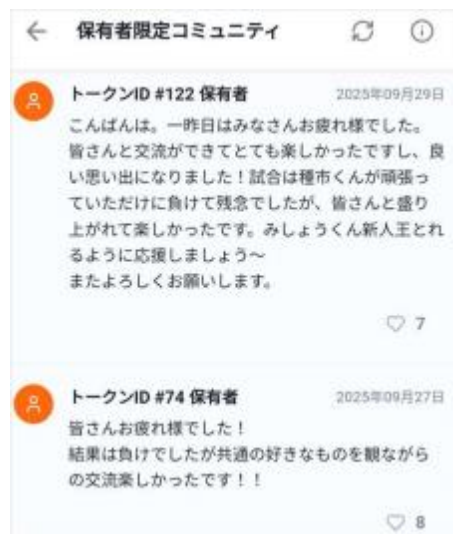
オンライン交流ツールの強化



Point 1

現在のオンライン交流ツールは、 個人間のやりとりができない

現在の交流ツールは匿名かつ掲示板的な機能に留まるため、イベント後に特定の人と連絡を取ることができない。そのため、イベントの時に連絡先を交換しないと、継続的なコミュニケーションに繋がりにくい。



Point 2

最初から私的な連絡先を 交換することに抵抗感がある

イベントで初めて会う相手に私的な連絡先を交換することに抵抗を感じるという声も挙がった。そのため、私的な連絡先を交換しなくても個人間のやりとりができて、仲良くなってから私的な連絡先を交換するという流れを実現したい。



オンライン交流ツールの強化案

私的な連絡先がなくてもメッセージができる

ちば部ID

ちば部ID
教えてよ！

もちろん、いいよー

個人的な連絡先
じゃないから、
安心！



概要

私的な連絡先を交換しなくても、イベント後に安心して交流できる仕組みとして「ちば部ID」をつくります。ちば部IDを交換することで、イベントで出会った相手と、まずはオンライン上で気軽にメッセージのやり取りができるようになります。

そのうえで、「仲良くなってから自然に私的な連絡先を交換する」という流れを生み出すことで、イベント後も交流が続きやすく、安心して関係を深められる環境を実現します。



アイデア 6

イベントを拡充するためのアイデア



企画背景

Point 1

自分の趣味が ちば部にまだない人も多い

ちば部は立ち上がったばかりのプロジェクトのため、特定の趣味の趣味に留まっていて、趣味がちば部の部活動にない人も多い。またニッチな趣味の方が、趣味友達を求めているという声も聞かれた。



ちば部には、
まだ僕の趣味の部活動がないな

ニッチな趣味だから
趣味友達が少ないんだよね。

Point 2

趣味の友達をインターネットで 募集している動きも見られる

ジモティーや、つながーと等で趣味の友達を探している人も多く見られた。しかし、東京都内の募集は多いものの、千葉県での募集は限られている。



誰でも部活動イベントが立ち上げられて趣味友達が作れる

ちば部 イベント掲示板



趣味仲間が欲しいなあ
そうだ、ちば部で募集しよう



ちば部には、
こんなイベントもあるんだ！
行ってみようかな。



概要

誰でも気軽にちば部の部活動イベントを企画・募集できる「ちば部 イベント掲示板」をつくります。

ちば部の公式ホームページやLINEアカウント内に設置し、やりたい企画を自ら発信できる窓口を整備。イベントを実施する際は、ちば部運営のサポートを得ながら実施することができます。

これにより、部活内オフ会や小規模イベントが立ち上がりやすくなり、ニッチな趣味でもつながりを広がられます。

その結果、県内での仲間づくりイベントが増え、新たな出会いや深い交流が生まれる機会をつくることができます。